

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1948号 2008年11月25日(火)

《 deflation fears 》

シティグループに対する新規資本投入を含めた巨額の政府支援が公表され、ガソリンの全米価格が2ドルを割り、オバマ次期政権の閣僚名簿が発表されてニューヨークの株価は大幅高で週を開けた。しかし、「これでもう大丈夫か」「金融市場が不安の時期を通り過ぎたのか」と問われれば、「わからない」と言うのが当たっている。

何よりも実体経済が悪化の一途を辿っていて、米ガソリン価格の2ドル割れは何よりもその証拠と見られている。一時は4ドル台の半ばまであった米ガソリン価格の急落は、一方でアメリカではデフレの懸念を強めるものである。この結果、12月の米FOMCは新たに0.5%程度の利下げが行われる見通しだ。イギリスでも消費税の引き下げなど、あの手この手の景気引き上げ策が実施されているが、まだ「2009年一年間の景気後退」というのが当たっている見方とすれば、トンネルの脱出は相当先である。

今週の市場は、とりあえず株価の上値、円の安値を試すことになるろう。しかし息切れした後は、再び「経済実態はどうなのか」という問い掛けに再び戻る可能性もある。

今週の主な予定は以下の通り。

11月25日(火)

10月企業向けサービス価格指数
米7~9月GDP(暫定値)
米7~9月個人消費
米7~9月コアPCE
米9月S&Pケースシラー総合指数
米11月コンファレンスボード消費者信頼感指数
7~9月米連邦住宅公社監督局(OFHEO)住宅価格指数

11月26日(水)

白川日銀総裁講演(東大)
米10月個人所得・支出
米10月PCEコアデフレーター
米10月耐久財受注
米11月シカゴ購買部協会景気指数

11月27日(木)
11月28日(金)

米 11 月ミシガン大学消費者信頼感指数(確報)
米 10 月新築住宅販売件数
米国債券市場半日取引
米国市場休場(Thanksgiving Day)
10 月鉱工業生産(速報)
10 月家計調査
10 月労働力調査
10 月全国・11 月都区部消費者物価
10 月商業販売統計
10 月住宅着工
10 月建設工事受注
米国市場短縮取引(Thanksgiving Day の翌日
で)
インド 7 ~ 9 月 GDP

《 have a nice week 》

今週は既に始まっているだけに、短めに。先週はまた一週間ニューヨークに行っていて、寒かったことと、どこに行ってもセキュリティが非常に厳しくなっていることが印象でした。特にビルのセキュリティ体制は非常に厳しくなっていて、軒並み ID を要求された。ニューヨークではパスポートの常時携帯が不可欠な状況になってきたという印象です。

10月11月の二度にわたる出張取材のまとまった記事は、また機会があったら書きたいと思います。オバマ次期大統領は次期経済チームを発表し、その中味は予想された物ですが、次期政権の大きな目玉になる経済刺激策や雇用創出策については具体的な発表を避けた。

それでは皆様には良い一週間を。

《当「ニュース」は住信基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》